

# 施策評価シート (評価対象年度：平成30年度)

## 1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	1 コミュニティ活動の促進	② 施策番号	1311
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	6 みんなでまちづくりに取り組むまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	1 市民が力をあわせるとともに、行政とともにまちづくりに取り組む参画と協働のまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	2 地域コミュニティづくりの推進		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
総合政策部	政策推進課		

## 2. 施策の現状把握

### [1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	地域コミュニティ
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	地域コミュニティでの地域的な共同活動などを活発にすることにより、地域の課題解決や地域コミュニティ活動に参画する市民を増やし、市民と行政が協働してまちづくりを行っていくまちにする。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	近年、家族形態の多様化、共同体意識の希薄化、少子高齢化などによる地域的な共同活動の参加者の減少により地域コミュニティが弱体化の傾向にある。そのため、市民協働によるまちづくりを行っていくためには、今後は全国的に地域コミュニティ活動の活性化が重要となると考えられる。

### [2] 施策指標及び推移

	施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
①	区加入率 計算式:	%	各区の地域コミュニティ活動が活性化することは各区の共同体意識が強くなることであり、それは区への市民参画が進むと考えられる。そのため区加入率により地域コミュニティ活動が活性化しているかどうか判断できると考えたため。
②	計算式:		
③	計算式:		

指標名		単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	備考
①	区加入率	%	目標値	—	—	—	78	80
			実績値	80	79	78	—	—
			達成率					
②			目標値					
			実績値					
			達成率					
③			目標値					
			実績値					
			達成率					

### [3] 施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標				総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化	
		指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価		今後の方向性
1	地域コミュニティ調整事業	議題件数	件	50	43	50	1,985	1,962	1,962	A	ア	◎
2	地域コミュニティ活動支援事業	申請のあった区の数	回	7	1	7	4,106	1,621	4,121	A	ア	○
3	市事務委託料	議題件数	件	50	43	50	7,355	7,348	7,404	A	ア	○
4												
5												
6												
7												
8												
計	3						13,446	10,931	13,487			

### 3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	地域コミュニティ活動が活発に行われれば、地域コミュニティが成熟した組織となることにつながり、地域コミュニティづくりの推進に貢献する。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	地域コミュニティ(区)へ市民がどの程度加入されているかにより、各地域コミュニティ(区)での共同体意識の度合いや地域コミュニティ活動が促進されているかが読み取れる。区加入率は80%程度となっているが、微減傾向にある。一層の啓発活動が必要である。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	地域コミュニティ活動を行うのは、市民・地域コミュニティ団体であり、市は地域コミュニティが活発になされるように補助金等や事務的な支援を行っており適切である。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	地域コミュニティ調整事業では各区のネットワークを組織し、地域課題解決に向けた検討調整を行う支援を行っており、地域コミュニティ活動支援事業では各区に対してコミュニティ活動が促進されるように直接必要な設備等整備のための補助を行っている。市事務委託事業では33地域の区長が連絡調整を担いコミュニティ構成メンバーに行政の情報伝達を行っている。各事業はコミュニティ活動を行う上で、適正な事業である。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	共同体意識の希薄化、少子高齢化などによる地域的な共同活動の担い手不足などの社会情勢の中、今後コミュニティ活動を促進するためには、各区が他の区とも連携しながら、コミュニティ活動を行っていかねばならないことも予想され、各区のネットワーク組織である泉南市区長連絡協議会を支援する地域コミュニティ調整事業は重要であると考えられる。

### 4. 一次評価(所管課評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
一次評価	C	地域的な共同活動の目的に応じて、地域コミュニティとテーマ型コミュニティも含めた各種団体との連携、区よりはやや広い区域での枠組みづくりなどをまちづくりの主体である地域とともに検討していく必要がある。	

### 5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	泉南市区長連絡協議会でやっている研修会を充実させることにより、地域コミュニティのリーダーである区長にコミュニティ活動への必要性やノウハウを理解してもらうことで、コミュニティ活動の促進につなげる。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	地域的な共同活動の目的に応じて、地域コミュニティとテーマ型コミュニティも含めた各種団体との連携を図る手法を市内の地域コミュニティに広めていくことにより、コミュニティ活動の促進につなげる。
中長期的対応 (3~5年をめどに取り組む改善案)	今後、共同体意識の希薄化、少子高齢化などによる地域的な共同活動の担い手不足が進む状況であれば、泉南市区長連絡協議会において、現在の区よりはやや広い区域での枠組みづくりなどを検討していく。

### 6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
二次評価	C	成果指標である区加入率は80%程度ではあるが、わずかに減少の傾向となっている。 少子高齢化の進展等、地域コミュニティを取り巻く環境は厳しいが、地域コミュニティづくりの推進に向けた取組を引き続き進められたい。	